

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた単元構想〈小・社会〉

特別研修員 社会 木村 友彦（小学校教諭）

単元名 『明治の国づくりを進めた人々』（第6学年） 全7時間計画

単元のねらい

黒船の来航、廃藩置県や四民平等の改革、文明開化などを手がかりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れながら近代化を進めたことを理解できるようにする。

単元構想の意図

本単元では、江戸末期から明治初期にかけての政治の仕組みや世の中の変化を捉え、それに関わった人々の思いや願いについて理解するために、つかむ過程で課題意識が高まるような資料を提示し、児童から出てきた疑問や調べたいことを基に単元の課題を設定します。追究する過程では本時のめあてを意識した振り返りをさせるとともに、その**振り返りが次時の課題につながるような視点**をもたせます。まとめる過程では児童一人一人が人物関係図を作りながら単元全体を振り返り、それぞれが中心に置いた人物の吹き出しに書いた「思いや願い」の共通点を見いだす活動を通して、単元の課題の結論が導き出せるように構成しました。

過程

主な学習活動

1. 「単元の課題」を把握する

○江戸末期と明治初期の日本橋付近の様子や、寺子屋と小学校の様子を比較し、話し合う活動を通して「単元の課題」を立てる。

明治維新ではどのような人々がどのような思いや願いで国の仕組みや社会を変えていったのだろう。

○明治初期の大きな変化の原因を予想して学習計画を立てる。

興味・関心をもたせる資料の提示

「なぜ?」「どのように?」といった課題意識を醸成できるように、同じ場所の時代を超えた変化や継続性が分かる資料を提示し、気付いたことを話し合わせる。

学びの見通しをもたせる

単元の見通しがもてるように、資料や年表と既有的知識を照らし合わせたり、複数の資料同士を比較・関連付けて話し合ったりして、予想を基に学習計画を立てさせる。

児童との対話

児童の発言について問い返したり、新たな視点を投げかけて多面的・多角的に考えさせる。

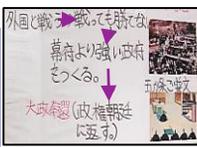


つかむ(2)

2. 「単元の課題」の解決に向け、単位時間ごとに追究する

○ペリー来航と討幕運動について調べる。

攘夷が失敗し、幕府より強い政府が必要だと考えた若い武士たちによって幕府は倒されたんだ。**新しい政府はどんなことをしたんだろう。**



<ワークシートの工夫>

○大久保利通らが進めた明治の諸改革について調べる。

欧米を参考に大久保たちは富国強兵の政策を進めたんだ。でも**不満をもった人々もいるみたいだ。**



<整理した後の板書>

○改革に不満をもつ人々の行動と、自由民権運動の広がりについて調べる。

主張の仕方が武力から言論に変わっていったんだ。**国会が開かれるまでにどんなことが起こるのだろう。**



<グループでの共有>

○大日本帝国憲法について調べる。

今の憲法とだいぶ違って天皇に大きな権力があつたんだ。でも近代国家になるには憲法が必要だったんだ。

ICTの活用

ノートパソコンと大型テレビをつなぎ、いつでも資料や年表を拡大して示せるようにしておく。



情報の整理

事実をキーワードで示させたり、考えを対応させたりできるようにワークシートを工夫する。色や矢印などを用いて社会的事象に関する情報を分類・整理させ、まとめさせる。

整理した情報を基に考察

調べた情報を共有させるとともに、社会的事象の特色や意味について「事実」と「目的」を区別して交流させ、話し合いの結果を構造的に板書にまとめていく。

ペアやグループでの学び合い

一人一人が情報の収集・選択・読み取りができるよう資料を精選するとともに、情報を補完・修正できるように、調べたことを他者と共有させる。

共通点の話合い

お互いの人物関係図を比較し、中心人物の吹き出しに書かれた思いや願いの共通点を探させることで、明治維新で活躍した人物たちが「天皇中心の豊かで強い軍隊をもつ国」を目指していたことを導く。

学びの価値付け

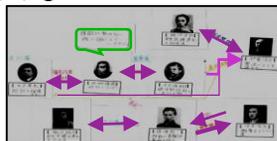
「江戸末期から明治初期の日本はどのような時代だったか」「どのように学んできたか」「今の時代とのつながり」といった視点に基づいて単元全体の振り返りを書かせ、クラス全体で共有することで、単元の課題の結論を確認する。

追究する(4)

まとめる(1)

3. 「単元の課題」についてまとめる

○一人一人が作成した人物関係図の共通点を話し合うことを通して単元の課題に対する結論を考える。



若い武士たちは、「日本を欧米に負けない豊かで強い国にする」という思いや願いをもって日本を近代化させ、国の仕組みを変えていったんだ。明治維新で近代化したからこそ、今の日本の発展につながっているんだ。

指導例：『明治の国づくりを進めた人々』(第6学年 第1時)

指導のポイント

1 本時のめあてをつかむ。

○江戸時代と明治時代の日本橋付近の絵図を調べ、気付いたことや変化したことを話し合う。

- T：この資料からどんなことが分かりますか。
 S：どちらも道の奥に富士山が見えているから同じ場所です。
 S：同じ場所だけど、違うところがたくさんあります。
 T：今日から明治時代に入ります。単元のはじめは何をしますか？
 S：資料を見て単元の課題を立てます。

<めあて> 絵図を比べて江戸から明治へどのように変わったのかを話し合い、単元の課題を立てよう。

めあての設定

○社会的事象との出会いの場面で児童の課題意識を高めるために、効果的な資料を精選するとともに既有知識を問い掛ける。

2 一人一人が江戸と明治の日本橋付近の絵図などを基に、疑問や調べたいことを考える。

○江戸時代と明治時代の日本橋を比較して考える。

- T：2つの違いが見つかりましたか。
 S：江戸時代には武士がいるけど、明治時代はなくなっています。
 S：建物の様子も違います。江戸は木造だけど、明治はレンガ造りです。



○寺子屋と学校も比較する。

- T：みんなにとって身近な学校の様子もだいぶ違いますよ。
 S：寺子屋の先生は武士だけど、明治になると教師になっています。
 S：明治になると教室で椅子に座って勉強しています。

○年表で時間の経過を確認する。

- T：このように変化するのに何年くらいかかったと思いますか？年表で確認してみましょう。
 S：あれ？約20年しかたっていません。

課題意識が高まる資料

○複数の資料を比較・関連付けながら観察させることで、「人々の様子・建物や景色の違い」など、時期や様子の変化に視点が当てられるようにする。その際ICTを活用して拡大したり、見る範囲を限定したりして視点を明確にする。

3 学級全体で、明治初期の変化に対する疑問や調べたいことを話し合い共有する。

- T：絵図の違いを見て疑問点や知りたいことはありませんか？
 S：いったい誰がこんなに大きく変えたのですか？
 S：江戸時代にいた武士たちはどこにいったのですか？
 S：江戸幕府はどうなったのですか？
 S：短期間で変わったけれど、何が起こったのだろう？

「単元の課題」づくり

○児童の疑問や調べたいことについての発言を板書し、その中のキーワードを共有することで、児童自身が「単元の課題」づくりをできるようにする。

4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

○今日学んだことを確認するとともに、単元の課題を言葉にまとめ、記述する。

【単元の課題】明治維新ではどのような人々が、どのような思いや願いで国の仕組みや社会を変えていったのだろう。

○習得した知識や友達の意見などを記述し、本時の振り返りを行う。

- S：たった20年で様子が全然違うことに驚きました。明治になると今の自分たちの生活に近付いているけれど、どのようにしてこんなに変わったのか調べてみたいと思いました。

「単元の課題」の設定

○事実や手順、方法を追究するために「どのような」という言葉を使って「単元の課題」を設定させる。

本時の振り返りの視点

○習得した知識や参考になった友達の意見、次時に調べてみたいことを記述させることで、本時の振り返りをさせる。

指導例：『明治の国づくりを進めた人々』(第6学年 第4時)

1 本時のめあてをつかむ。

○前時を振り返るとともに本時の資料を見て、明治維新で活躍した人々の思いや願いを調べることを確認する。

T：大久保利通らは外国に何をしに行ったのでしょうか。

S：条約改正だと思います。 S：留学しに行ったのだと思います。

<めあて> 欧米に学んだ大久保利通らはどのような国づくりをめざしていったのだろう。

2 解決に必要な情報を集め、読み取る。

○教科書を使い、大久保利通らの政策について調べ、ワークシートにまとめる。

○隣の席や近くの席の人と調べた内容を共有し、補完・修正する。

S：地租改正は税を米から現金に変えたことだね。

S：税金の値段は土地の価格の3%だったね。



3 整理した情報を基に考察する。

T：なぜ廃藩置県をしたのでしょうか？

S：政府の権力を強くするためです。

T：なぜ廃藩置県をすると政府の権力が強くなるのですか？

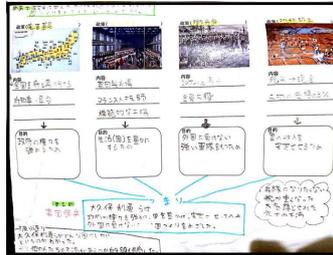
S：政府から派遣されてきた府知事と県令が一番偉くなったからです。

S：それまではその土地の大名がそれぞれの土地を治めていました。

T：明治政府で一番偉い人は誰だったか覚えていますか？

S：大政奉還して幕府が政権を返したのだから天皇です。

S：明治時代は聖徳太子の時みたいに天皇中心の国づくりに戻したということですね。聖徳太子の時代に似ていると思います。



4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

○板書のキーワードを基に本時のまとめを書く。

大久保利通らは天皇を中心とした、豊かで強い軍隊をもつ国づくりを目指した。

T：富国強兵でいい国になりますね。みんな大満足ですね。

S：いや、一般の人は税が重くなったり、兵役があったりするから嫌がる人が出てくると思います。

S：武士は特別な役割がなくなってしまったから不満だと思います。

○習得した知識や友達の意見などを記述するとともに、本時の振り返りを行う。

S：大久保たちは天皇中心で豊かで強い軍隊をもつ国を目指しました。でも改革に不満をもった人たちもいるようです。その人たちはこの後どうするのか気になりました。

指導のポイント

本時のめあてをつかむ

○学習計画や前時までの予想を振り返ることで、本時の解決方法について見通しをもてるようにする。

解決に必要な情報を集めさせる工夫

○追究したことをまとめやすくするために、枠組などを工夫したワークシートを用意しておく。

事実を基に考察する

○社会的事象を多面的・多角的に考えられるようにするために、児童が調べた事実に対してその特色や意味を問い返したり、新たな視点を示したりする。

情報の整理

○資料の丸写しにならないように矢印や線でつないだり、色を工夫したり、キーワードで示させたりして構造的にまとめさせる。

児童の発言を生かしたまとめ

○追究した社会的事象の特色や意味についての一般化を図ることで、「具体的な事実に関する知識」について学級全体で共有できるようにする。

次時へつなげる振り返りの視点

○次時の学習へつなげるような発問をして新たな疑問をもたせてから振り返りを行うことで、学習意欲を高めるようにする。

指導例：『明治の国づくりを進めた人々』(第6学年 第7時)

1 本時のめあてをつかむ。

○単元の課題や学習計画を確認し、追究する過程の各単位時間で解決してきたことを想起する。

<めあて> 学習問題について調べてきたことを人物関係図に整理し、明治維新に関わる人々の思いや願いをまとめよう。

2 学習してきたことを基に、一人一人が「単元の課題」に対する結論を考える。

○各単位時間に習得してきた具体的な事実に関する知識を整理し、人物関係図を作成する。

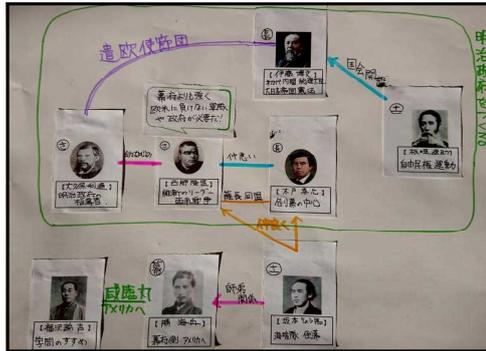
- S：大久保は明治政府の中心人物。
- S：板垣退助は国会開設を言論で主張した自由民権運動のリーダー。
- S：大久保・木戸・伊藤は一緒に欧米に行って学んだ仲間。



3 学級全体で、「単元の課題」に対する結論を話し合う。

○作った人物関係図の中心に置いた人物に吹き出しを付け、その人物の思いや願いを記述し、その共通点について話し合う。

- T：吹き出しにどんな思いが書けましたか。
- S：西郷は外国に負けない強い国を作る。
- S：大久保は天皇中心の豊かで強い国。
- S：伊藤はドイツにならって天皇が強い憲法をつくる。
- S：板垣が主張した国会開設も欧米にならって民主的にしたいという思いがあったのだと思います。
- S：だれを中心にしても、欧米に負けない、豊かで強い国を目指そうという思いや願いが出てくるということが分かります。



4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。

○板書で整理された意見を基に、単元全体のまとめを考える。

明治維新で活躍した人々はより強い国を目指して開国し、富国強兵などの改革で日本を近代化させ、欧米に負けない強い国をつくらうとした。

- 社会的事象について何を学んだかという視点で単元全体の振り返りをする。
- S：欧米に追い付き、負けないために日本は近代化を進めて、国の仕組みを変えていったことが分かりました。
- S：明治維新で近代化したからこそ、今の日本につながっているんだと思いました。

指導のポイント

本時のめあてをつかむ

○本時の見通しをもつために、社会科の学習における本時の位置付けが、単元の結論を導く時間であることを確認する。

一人一人が自分の考えをもてるようにする工夫

○児童が各単位時間で学習した知識を振り返ることができるように、キーワードで人物カードをまとめさせる。

社会的事象を多面的・多角的に捉えるための整理

○明治維新の登場人物を矢印で結んだり、囲んだりすることで、それぞれの人物を比較・関連付けさせる。

吹き出しに書かれた思いや願いの共通点を考えさせる

○話し合った結論や、根拠の妥当性、共通点や相違点などを考えることを通して、単元の課題に対する結論を導く。

単元全体の振り返り

○学びの価値付けをするために一人一人が振り返る時間を確保するとともに、学級内で共有できるようにする。また、その際に「何を学んできたか」「今の時代とのつながり」といった視点を与えて記述させる。

社会科学習指導案

平成30年10月 第6学年 指導者 木村 友彦

I 単元名 明治の国づくりを進めた人々

II 学習指導要領上の位置付け

(2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ケ) 黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などを手掛かりに、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解すること。

(シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

III 目標

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

ア (知識及び技能)

黒船の来航、明治維新、文明開化と時代が変化し、廃藩置県、富国強兵、地租改正や四民平等、大日本帝国憲法の発布などの諸改革を通して、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを資料から読み取り、理解している。

イ (思考力、判断力、表現力等)

黒船の来航、明治維新、文明開化など時代が変化したことや、廃藩置県、富国強兵、地租改正や四民平等、大日本帝国憲法の発布などについて調べたことを比較・関連・総合して明治政府が欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことやそれに関わる人物の願いや働き、文化遺産の意味を考え、表現している。

ウ (学びに向かう力、人間性等)

黒船の来航、明治維新、文明開化など時代が変化したことや、明治政府が行った廃藩置県、四民平等、大日本帝国憲法の発布など諸改革に関心を持ち、我が国が欧米の文化を取り入れながら近代化を進めていったことを進んで調べようとしている。

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開 (1/7)

- ねらい 江戸と明治の日本橋付近の資料を基に疑問や調べたいことを考え、単元の課題を立てる活動を通して、明治初期に活躍した人々の働きや社会的変化の原因を追究する意欲をもてるようにする。

2 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの児童の意識
1 本時のめあてをつかむ。(5分) ○本単元では江戸時代から明治時代について学習していくこと、また本時では単元の課題を設定することを確認する。 ○江戸時代と明治時代の日本橋付近の絵図を提示し、変化したことを問い掛ける。			
めあて 写真や絵図を比べ、江戸から明治へどのように変わったのかについて話し合い、単元の課題を立てよう。			
2 一人一人が、本単元の社会的事象に関わる資料を基に、疑問や調べたいことを考える。(15分) ○社会の雰囲気や視点を視点として日本橋付近の違いを見付け、その後、庶民生活を視点として、寺子屋と学校の様子の違いについて見付けるよう助言する。 ○明治初期の社会の雰囲気や、庶民生活について気付いたこと、見付けたこと、考えたことを記述するよう促す。			
3 学級全体で、社会的事象についての疑問や調べたいことの共有や焦点化を図る。(15分) ○明治初期に関する写真や絵図を基に、考えた疑問や調べたいことを発表するよう促す。 ○発言内容の共通点などを確認したり、その理由を問い掛けたりする。			
江戸から明治への大きな変化に関心をもち、明治初期に活躍した人々の働きや社会的変化の原因を追究する意欲をもてる。〈ノート・発言 (1)〉			
4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。(10分) ○明治初期の様子について共通して解決すべきことを問い掛ける。 ○板書に整理された「人々」「思い・願い」「国のしくみ」などのキーワードを基に、「単元の課題」を言葉としてまとめる。			
明治維新ではどのような人々がどのような思いや願いで国のしくみや社会を変えていったのだろう。			
○本時の振り返りとして、明治時代について新たに知ったことや驚いたこと、参考になった友達の意見などを記述、発言させる。 ☆たった20年の間で様子が全然違うのに驚いたな。明治は今の私たちの様子に近付いているけど、どのようにしてこんなに変わったのだろう。いろいろ調べてみたいな。			

V 本時の展開（4／7）

- ねらい 大久保利通らが進めた明治の諸改革を調べ、その意味を話し合う活動を通して、富国強兵のために様々な政策が行われたことを理解できるようにする。
- 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの児童の意識
1 本時のめあてをつかむ。（5分） <ul style="list-style-type: none">○「単元の課題」や前時のペリー来航や討幕運動の学習で学んだことを確認をするよう促す。○「1871年の使節団の出発」の絵図から欧米視察に出発したことを捉えさせる。○欧米に何を視察に行ったと思うか問い掛ける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">めあて 欧米に学んだ大久保利通らは、どのような国づくりをめざしていったのだろう。</div>			
2 一人一人が、解決に必要な情報を集め、読み取る。（15分） <ul style="list-style-type: none">○大久保らが打ち出した「廃藩置県」「殖産興業」「徴兵令」「地租改正」に関する資料から、その政策について調べ、その内容や意味をワークシートにまとめるよう促す。○ペアでワークシートを見せ合い、それぞれの政策についての内容を共有して補完・修正するよう助言する。			
3 学級全体で、整理した情報を基に考察する。（20分） <ul style="list-style-type: none">○「廃藩置県」「殖産興業」「徴兵令」「地租改正」について調べた事実を発表するよう促す。○「廃藩置県」「殖産興業」「徴兵令」「地租改正」が何のために行われたのか話し合うよう助言する。○話合いの内容を線や矢印を用いて整理して板書する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">明治の諸改革を相互に関連付けて考え、大久保利通らがどのような国づくりを目指して政策を進めていったのか表現している。＜ワークシート・発言（2）＞</div>			
4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。（5分） <ul style="list-style-type: none">○板書の「豊かな国」「強い軍隊」「欧米に負けない」などのキーワードを基に、児童に本時のまとめを記述するよう促すとともに、板書をして共有をする。○一人一人に本時のめあてを意識した学習の振り返りをするように促す。○大久保ら為政者の視点と民衆の目線を押さえることで、次時の政府に不満をもった人たちの行動へとつなげる。 <p>☆大久保利通らは欧米を参考にして、国を豊かにし、強い軍隊をもつことで欧米に負けない国づくりをしようと地租改正や殖産興業、徴兵令などの政策を行っていったんだ。不満をもった人たちはどうしたんだろう。</p>			

V 本時の展開 (7/7)

- ねらい 一人一人が作成した人物関係図の共通点を話し合う活動を通して、明治維新を進めた人物たちは、欧米から国を守るという思いをもち、日本の近代化を図る諸改革を行っていたことを理解できるようにする。

2 展開

学習活動 (分)	○: 留意点	点線囲: 評価	☆: 振り返りの子供の意識
1 本時のめあてをつかむ。(5分) ○「明治維新ではどのような人々がどのような思いや願いで国のしくみや社会を変えていったのだろう」という単元の課題を確認するよう促す。 ○人物関係図を作る活動を通して、単元の課題に対する結論をまとめることを伝える。			
めあて 学習してきたことを基に人物の関係を図に整理し、明治維新に関わった人々の思いや願いをまとめよう。			
2 一人一人が、学習してきたことを基に「単元の課題」に対する結論を考える。(10分) ○今までの学習で習得してきた明治維新で活躍した人物たちに関する知識を問い掛ける。 ○人物関係図の中心人物の枠に吹き出しをつけておき、人々の思いや願いを表現するよう助言する。			
3 学級全体で、「単元の課題」に対する結論を話し合う。(20分) ○それぞれの人物を中心として作成した人物関係図を並べ、新しい時代に対する彼らの「思いや願い」の共通点を考えさせる。 ○導いた結論の根拠を明らかにして説明するように促す。			
明治維新で活躍した人物の関係図をまとめながら共通点を話し合い、単元の課題に対するまとめを表現している。<ワークシート・発言(2)>			
4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。(10分) ○「単元の課題」に対する結論について話し合ったことを基に、「分かったこと」「気付いたこと」を問い掛ける。 ○明治維新で活躍した人々の思いや願いを基に、単元の課題のまとめをする。 ○明治時代と現在とのつながりを意識させて、単元全体の振り返りをするように促す。 ☆明治維新で活躍した人々はより強い国を目指して開国をし、富国強兵などの改革で日本を近代化させて欧米に負けない国を作ろうとしたこと分かった。この時代に近代化を成し遂げたことが、今の豊かな日本につながっているんだな。			

指導計画 社会科 第6学年 単元名「明治の国づくりを進めた人々」(全7時間計画)

目標	<p>社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを旨とする。</p> <p>ア (知識及び技能) 黒船の来航、明治維新、文明開化と時代が変化し、廃藩置県、富国強兵、地租改正や四民平等、大日本帝国憲法の発布などの諸改革を通して、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを資料から読み取り、理解している。</p> <p>イ (思考力、判断力、表現力等) 黒船の来航、明治維新、文明開化など時代が変化したことや、廃藩置県、富国強兵、地租改正や四民平等、大日本帝国憲法の発布などについて調べたことを比較・関連・総合して明治政府が欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことやそれに関わる人物の願いや働き、文化遺産の意味を考え、表現している。</p> <p>ウ (学びに向かう力、人間性等) 黒船の来航、明治維新、文明開化など時代が変化したことや、明治政府が行った廃藩置県、四民平等、大日本帝国憲法の発布など諸改革に関心をもち、我が国が欧米の文化を取り入れながら近代化を進めていったことを進んで調べようとしている。</p>		
評価規準	<p>(1) 黒船の来航から明治維新、文明開化などの時代の変化にもなつて、明治政府が行った廃藩置県、四民平等、大日本帝国憲法の発布などの諸改革に関心をもち、我が国が欧米の文化を取り入れながら近代化を進めていったことを進んで調べようとしている。</p> <p>(2) 黒船の来航、明治維新、文明開化と時代が変化したことや、廃藩置県、富国強兵、地租改正や四民平等、大日本帝国憲法の発布などについて調べたことを比較したり関連付けたり、総合したりして明治政府が欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことや、それに関わる人物の願いや働きなどの意味を考え、人物関係図などに表現している。</p> <p>(3) 明治という新しい時代になって、人々の生活が変化したことや、我が国を近代化するために様々な諸改革を行った代表的な人物の働きなどについて必要な資料を集め、読み取っている。</p> <p>(4) 黒船の来航、明治維新、文明開化と時代が変化していく中で、明治政府が廃藩置県、富国強兵、地租改正や四民平等、大日本帝国憲法の発布などの諸改革を行ったことを通して、我が国が欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解している。</p>		
過程	時間	☆振り返り (意識)	◇評価項目 〈方法・観点〉
つかむ	1	☆たった20年の間で様子が全然違うのに驚いたな。明治は今の私たちの様子に近付いているけど、どのようにしてこんなに変わったのだろう。いろいろ調べてみたいな。	◇江戸から明治への大きな変化に関心をもち、誰がどのようにして変えていったのかななどの疑問や、調べたいことを考え、表現している。 〈ノート・発言(1)〉
<p>○ねらい めあて</p> <p>写真や絵図を比べ、江戸から明治へどのように変わったのかについて話し合い、単元の課題を立てよう。</p> <p>【単元の課題】 明治維新を進めた人々は、どのような思いや願いで国の仕組みや社会を変えていったのだろう。</p>			
	2	☆きっと国の仕組みを何かしら変えたから社会の様子も変わったのではないかな。江戸時代とはどのようなことが変わったのか早く調べたいな。	◇学習問題の予想について、理由や根拠を基に考え、学習計画を立てている。 〈ノート・発言(1)〉
追究する	3	☆外国との貿易が始まったことにより物価が上がり、人々の不満は高まった。貿易に反対して外国と戦っても勝てず、幕府より強い政府が必要と考えた人々によって江戸幕府は倒されたんだな。	◇日米修好通商条約が国内生活を混乱させ幕府への不満を募らせたことや、江戸幕府よりも強い政府が必要と考えた若い武士たちが明治維新を進めたことを関連させて表現している。 〈ノート・発言(2)〉
	4	☆大久保利通らは欧米を参考にして、国を豊かにし、強い軍隊をもつことで欧米に負けない国づくりをしようと地租改正や殖産興業、徴兵令などの政策を行っていたんだ。不満をもった人たちはどうしたんだろう。	◇明治の諸改革を相互に関連付けて考え、大久保利通らがどのような国づくりを目指して政策を進めていったのか表現している。 〈ワークシート・発言(2)〉
	5	☆武力による反乱では新政府に勝てないことが分かって、言論による自由民権運動が広まっていったんだな。その結果自由民権運動は社会	◇政府に不満をもつ人々の行動が反乱から言論へと変化していったことを、国会の開設を求める板垣退助の願いや行動と関連

		<p>政府の改革に不満をもつ人々は、どのような行動をとったのだろう。</p>	<p>をどのように変化させたのか調べてみたいな。</p>	<p>付けて記述している。 〈ノート・発言(2)〉</p>
	6	<p>○大日本帝国憲法について調べ、その内容を話し合う活動を通して、天皇に強い権限があることや、選挙権が一部のみにしかないと理解できるようにする。</p> <p>伊藤博文らの作った大日本帝国憲法はどのようなものだったのだろう。</p>	<p>☆大日本帝国憲法は今の憲法とはだいぶ違って選挙に行ける人もごく少なかったことが分かった。でも欧米の仲間入りをするためには憲法が必要だったんだ。</p>	<p>◇伊藤博文が作った大日本帝国憲法の特徴について、資料を活用して調べ、天皇に強い権限があることや選挙権をもつ人は国民の一部だったこと読み取り整理している。 〈発言・ノート(3)〉</p>
まとめ	7	<p>○一人一人が作成した人物関係図の共通点を話し合う活動を通して、明治維新を進めた人物たちは、欧米から国を守るといふ思いをもち、日本の近代化を図る諸改革を行っていたことを理解できるようにする。</p> <p>学習してきたことを基に人物の関係を図に整理し、明治維新に関わった人々の思いや願いをまとめよう。</p>	<p>☆明治維新で活躍した人々はより強い国を目指して開国をし、富国強兵などの改革で日本を近代化させて欧米に負けない国を作ろうとしたこと分かった。この時代に近代化を成し遂げたことが今の豊かな日本につながっているんだな。</p>	<p>◇明治維新で活躍した人物の関係図をまとめながら共通点を話し合い、単元の課題に対するまとめを表現している。 〈ワークシート・発言(2)〉</p>